

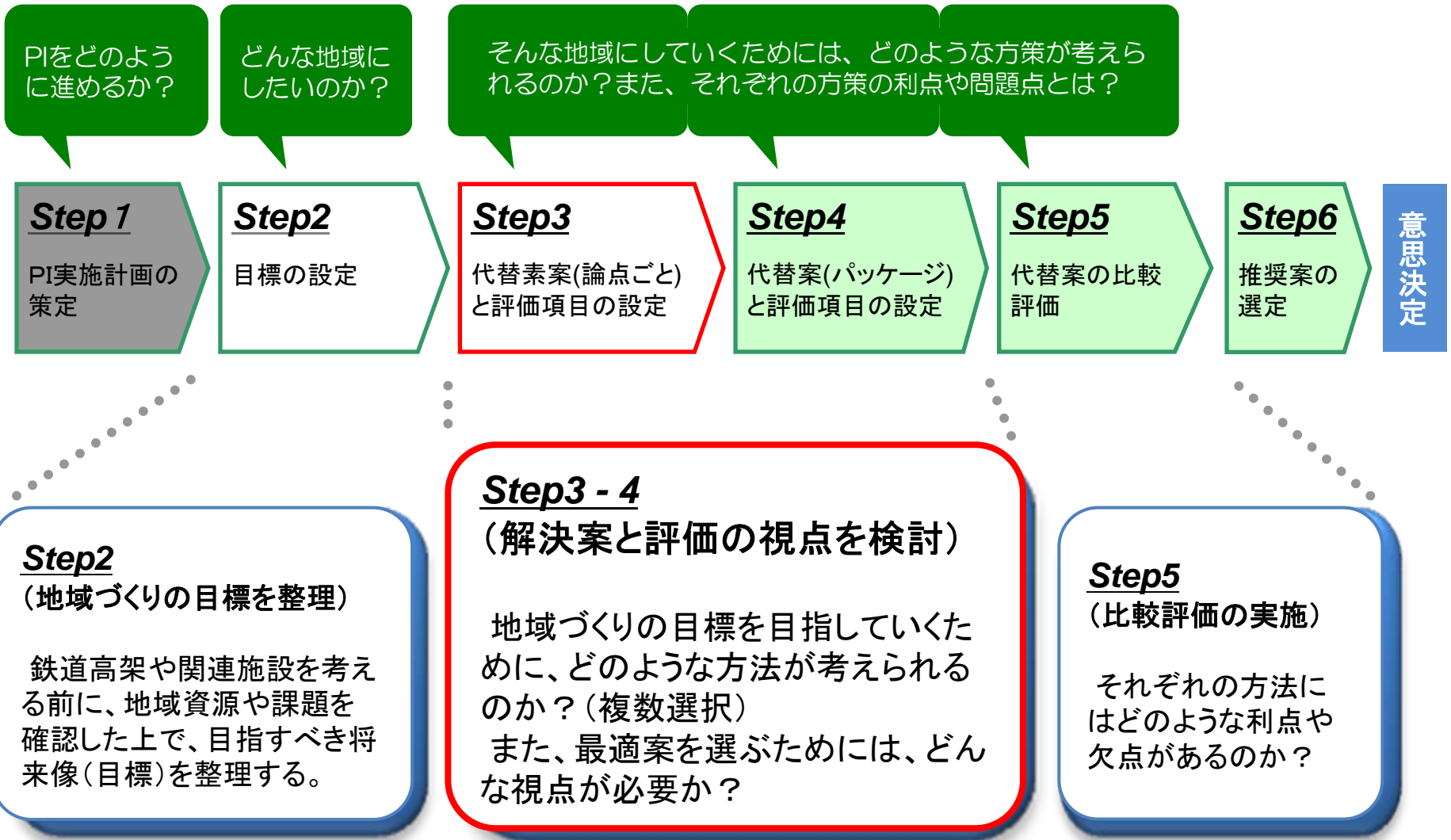
沼津高架P Iプロジェクト



ステップ3の進め方について

【第8回P I委員会】

沼津高架PIプロジェクトのプロセス



ステップ3の内容

ステップ3では、ステップ2でとりまとめた「地域づくりの目標」を達成するための具体的方策（代替素案）を検討します。また、「地域づくりの目標」をどのような指標で評価するのか、それぞれの地区にとって重視して欲しい点などから評価項目を整理します。

ステップ2

地域づくりの目標（広域）

- | | |
|---------|----------------|
| 拠点 | ・広域的な中心に |
| 交流 | ・交流拠点として賑わう |
| 戦略 | ・何もせずに過ごすのは問題 |
| 財政・事業効果 | ・税金は効果的に使ってほしい |

地域づくりの目標（沼津駅周辺地区）

- | | |
|-------|----------------|
| 暮らし | ・誰もが暮らしやすく |
| 交流 | ・多くの人が集う街に |
| 産業・雇用 | ・持続的な経済活動と雇用機会 |
| 交通 | ・外も中も移動しやすい |
| 防災 | ・地震や津波にも強い |

地域づくりの目標（原地区）

- | | |
|-------|----------------|
| 暮らし | ・自然豊かな暮らしを |
| 交流 | ・人が集まる魅力ある地域に |
| 産業・雇用 | ・地域に活力を |
| 交通 | ・広域も南北も移動しやすく |
| 防災 | ・水害にも津波にも強い地域に |

ステップ3

「地域づくりの目標」を達成するための具体的方策（代替素案）を検討

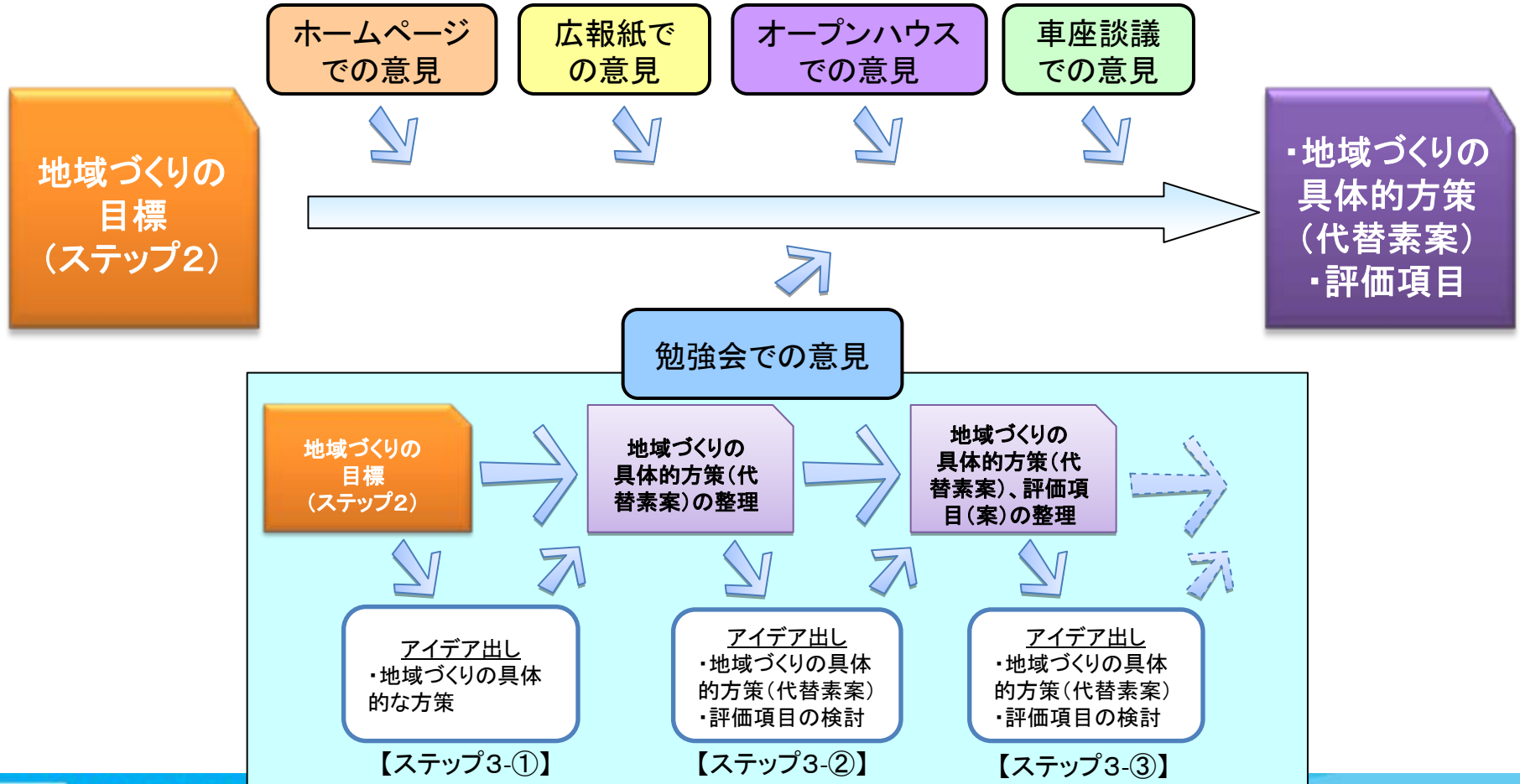
具体的方策（代替素案）

「地域づくりの目標」をどのような指標で評価するのか、それぞれの地区にとって重視して欲しい点から評価項目を整理

評価項目

ステップ3の進め方(イメージ)

ステップ2同様、ホームページや広報紙、オープンハウス、車座談議で広く意見を聴くとともに、勉強会で深い議論を進めます。勉強会は、各回で議論した内容を事務局が整理し、次の勉強会での議論の材料にしながら進めます。



ステップ3におけるP I 委員会の評価視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ3での評価の視点
1	多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか	ステップ3では具体的な地域づくりの方策（代替素案）を取りまとめるため、勉強会などの場では対立につながりやすいと考えられる。このため、様々に提案される方策に関して、相互に理解が進むような運営がなされているか？
2	どのステップの検討をしているか明確にしながらか進めているか	ステップ3の検討段階であることが明示され、目的に沿った議論が誤解なくできるような努力がなされているか？
3	議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか	ステップ3の議論においては、それぞれの具体的方策を批判しあうことも予想される。このため、次ステップ以降の議論との混同を避けるとともに、議論が次ステップへと円滑に移行できるよう考慮して進めているか？
4	多様な利害や関心を踏まえた上で、目標や代替案、評価項目を設定しているか	多様な利害関心があるなかで、一定の共有化がなされた「地域づくりの目標」を共通の立脚点として、常にそこに立ち返りながら、議論の流れを確認するといった丁寧な進め方がなされているか？

ステップ3におけるP I 委員会の評価視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ3での評価の視点
5	市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか	広報紙やオープンハウスなどの機会に限らず、車座談議などの直接的な双方向コミュニケーションの機会を引き続き設けるとともに、女性や若年層、各種の企業など、これまでコンタクトが少ないステークホルダーも含め、幅広い対象とのコミュニケーションを継続しているか？
6	積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き、論点を把握しているか	勉強会での議論の状況を広報紙や車座談議などの手法を通じて広く共有するとともに、多様な意見を把握し、論点を整理しながら進めているか？議論に必要な情報は適切に提供されているか？
7	P I 委員会の助言を踏まえて、適切にP I を実施しているか	P I 委員会の助言に対して、適切な対応がなされているか？
8	その他	勉強会は、意図的な議論の打ち切りや遅延行為など不適切な運営はなく、適切な議論や時間管理がなされているか？